

令和7年度

沖永良部農業水利事業  
地下ダム施工技術検討業務

# 積 算 書

(当初)

















事業名 沖永良部農業水利事業						
業務名 地下ダム施工技術検討業務						
業務別業務名:地下ダム施工技術検討業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単 - 1号 *** 1-1 資料収集・整理及び業務作業計画の策定 設計労務(直接人件費内業)		式	415,300		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 2-1 自記地下水水位観測記録等の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	1,995,900		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 2-2 地下水水位観測記録等の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	1,613,900		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 2-3 地下ダム貯留域内外の地下水挙動の把握 設計労務(直接人件費内業)		式	1,601,100		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** 2-4 対策工完了後の貯留域ゲートによる水収支計算 設計労務(直接人件費内業)		式	1,014,600		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** 3-1-1 ダム軸上下流地下水位の相関分析 設計労務(直接人件費内業)		式	404,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 7号 *** 3-2 流動調査結果による分析 設計労務(直接人件費内業)		式	1,014,600		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** 3-3 一斉観測調査 設計労務(直接人件費内業)		式	1,926,500		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** 3-4-1 浸透抑制効果分析結果のとりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	452,500		歩A・単A
S63003	*** S単 - 10号 *** 4-1 ダム技術検討委員会資料作成(第1回) 設計労務(直接人件費内業)		式	1,352,400		歩A・単A
S63003	*** S単 - 11号 *** 4-2 ダム技術検討委員会資料作成(第1回)グラフ 設計労務(直接人件費内業)		式	452,700		歩A・単A
S63003	*** S単 - 12号 *** 5-1 照査 設計労務(直接人件費内業)		式	278,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 13号 *** 6-1 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	795,400		歩A・単A
S63010	*** S単 - 14号 *** 打合せ(設計業務基準日額)着手前_Web方式 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日		回	63,250		歩A・単A
S63010	*** S単 - 15号 *** 打合せ(設計業務基準日額)最終_Web方式 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日		回	63,250		歩A・単A
S63010	*** S単 - 16号 *** 打合せ(設計業務基準日額)中間_対面方式 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,1日		回	162,150		歩A・単A
S63010	*** S単 - 17号 *** ダム技術検討委員会出席(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,1日,1日		回	253,000		歩A・単A
S63010	*** S単 - 18号 *** ダム技術検討委員会幹事会出席(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,1日,1日		回	253,000		歩A・単A
S63011	*** S単 - 19号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L(100km以上)		回	167,380		歩A・単A
S63017	*** S単 - 20号 *** 旅費交通費(ダム技術検討委員会出席) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,一般交通機関,1.00日,0日,,なし,100km L(100km以上)		式	163,524		歩A・単A
S63017	*** S単 - 21号 *** 旅費交通費(ダム技術検討委員会幹事会出席) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,一般交通機関,1.00日,0日,,なし,100km L(100km以上)		式	169,924		歩A・単A



事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名:地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	1-1 資料収集・整理及び業務作業計画の策定 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の数	3.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	
R04006	技師(C)		3.000	人	40,300	
R04007	技術員		3.000	人	36,100	
	合計				415,300	算出数量 1.000 式
	単価			式	415,300	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	2-1 自記地下水観測記録等の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の数	15.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	
R04004	技師(A)		5.000	人	59,600	
R04005	技師(B)		10.000	人	48,500	
R04006	技師(C)		15.000	人	40,300	
R04007	技術員		15.000	人	36,100	
	合計				1,995,900	算出数量 1.000 式
	単価			式	1,995,900	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	2-2 地下水観測記録等の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の数	10.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	
R04004	技師(A)		5.000	人	59,600	
R04005	技師(B)		10.000	人	48,500	
R04006	技師(C)		10.000	人	40,300	
R04007	技術員		10.000	人	36,100	
	合計				1,613,900	算出数量 1.000 式
	単価			式	1,613,900	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名: 地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	2-3 地下ダム貯留域内外の地下水挙動の把握		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	12.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	334,500	
R04004	技師(A)	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師(B)	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師(C)	12.000	人	40,300	483,600	
	合計				1,601,100	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,601,100	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	2-4 対策工完了後の貯留タケワリによる水収支計算		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	1.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04002	技師長		人	77,500	77,500	
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師(C)	5.000	人	40,300	201,500	
R04007	技術員	5.000	人	36,100	180,500	
	合計				1,014,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,014,600	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	3-1-1 ダム軸上下流地下水位の相関分析		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師(C)	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				361,500	
	単価		式		361,500	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名:地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				404,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		404,200	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	3-2 流動調査結果による分析		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	1.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人				
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04002	技師長	1.000	人	77,500	77,500	
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師(C)	5.000	人	40,300	201,500	
R04007	技術員	5.000	人	36,100	180,500	
	合計				1,014,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,014,600	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	3-3 一斉観測調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	8.000	人	59,600	476,800	
R04005	技師(B)	10.000	人	48,500	485,000	
R04006	技師(C)	10.000	人	40,300	403,000	
R04007	技術員	10.000	人	36,100	361,000	
	合計				1,926,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,926,500	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	3-4-1 浸透抑制効果分析結果のとりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名: 地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04005	技師 ( B )	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師 ( C )	3.000	人	40,300	120,900	
	合計				452,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		452,500	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	4-1 ダム技術検討委員会資料作成 ( 第 1 回 )		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	8.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師 ( A )	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師 ( B )	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師 ( C )	8.000	人	40,300	322,400	
R04007	技術員	8.000	人	36,100	288,800	
	合計				1,352,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,352,400	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	4-2 ダム技術検討委員会資料作成(第1回)のラフing		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 ( A )	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 ( B )	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 ( C )	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				452,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		452,700	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	5-1 照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	1.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04002	技師長	1.000	人	77,500	77,500	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名: 地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
	合計				278,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		278,200	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	6-1 点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				795,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		795,400	
	*** S単 - 14号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)着手前_Web方式		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	
	合計				63,250	算出数量 1.000 回
	単価		回		63,250	
	*** S単 - 15号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)最終_Web方式		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	
	合計				63,250	算出数量 1.000 回
	単価		回		63,250	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名: 地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 16号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 中間 対面方式		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 1日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 打合せ	中間		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	1.000日				
R04004	技師(A)		1.500	人	59,600	89,400
R04005	技師(B)		1.500	人	48,500	72,750
	合計				162,150	算出数量 1.000 回
	単価			回	162,150	
	*** S単 - 17号 ***					
S63010	ダム技術検討委員会出席(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 1日, 1日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 打合せ	着手前・最終		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 設計用主任技師人数	1.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	1.000日				
	8) 往復移動日数	1.000日				
R04003	主任技師		2.000	人	66,900	133,800
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	119,200
	合計				253,000	算出数量 1.000 回
	単価			回	253,000	
	*** S単 - 18号 ***					
S63010	ダム技術検討委員会幹事会出席(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 1日, 1日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 打合せ	着手前・最終		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 設計用主任技師人数	1.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	1.000日				
	8) 往復移動日数	1.000日				
R04003	主任技師		2.000	人	66,900	133,800
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	119,200
	合計				253,000	算出数量 1.000 回
	単価			回	253,000	
	*** S単 - 19号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種, 中間, 滞在して打合せ, 乙地, なし, 一般交通機関, 0日, 100km L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 打合せ内容	中間		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師配置人員	0人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	1人				
	6) 技師C配置人員	0人				

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名: 地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)宿泊区分	滞りして打合せ				
	10)宿泊地	乙地				
	11)補正区分	なし				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	7,381円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	63,400円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54204	設計用技師(B)日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師(B)宿泊費 (乙地)消費税抜き(4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	7,381	14,762	
P54309	航空料金 消費税抜き	2.000	人	63,400	126,800	
	合計				167,380	算出数量 1.000 回
	単価		回		167,380	
	*** S単 - 20号 ***					
S63017	旅費交通費(ダム技術検討委員会出席)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,一般交通機関,1.00日,0日,なし,100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)交通機関区分	一般交通機関		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金(税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	14,762円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	120,400円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	0日				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	1.000日				
	14)技師A外業日数	1.000日				
	15)技師B外業日数	0.000日				
	16)技師C外業日数	0.000日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	2,363	4,726	
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54303	バス料金 消費税抜き	1.000	式	14,762	14,762	
P54305	航空料金 消費税抜き	1.000	式	120,400	120,400	
	合計				163,524	算出数量 1.000 式
	単価		式		163,524	
	*** S単 - 21号 ***					
S63017	旅費交通費(ダム技術検討委員会幹事会出席)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,一般交通機関,1.00日,0日,なし,100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)交通機関区分	一般交通機関		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金(税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	14,762円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	地下ダム施工技術検討業務

業務別業務名: 地下ダム施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7) 航空往復料金[全員分合算](税別)	126,800円				
	8) 往復移動日数	1.00日				
	9) ライトバン使用日数	0日				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	1.000日				
	14) 技師A外業日数	1.000日				
	15) 技師B外業日数	0.000日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	2,363	4,726	
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54303	バス料金 消費税抜き	1.000	式	14,762	14,762	
P54305	航空料金 消費税抜き	1.000	式	126,800	126,800	
	合計				169,924	算出数量 1.000 式
	単価		式		169,924	
	*** S単 - 22号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1. A - 4,500,5cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 規格区分	A - 4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 枚数区分(枚)	500		深夜時間:0.0		
	4) 厚さ区分	5cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43542	簡易加除式ファイル A 4縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	591	591	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合計				7,341	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,341	

令和7年度沖永良部農業水利事業  
地下ダム施工技術検討業務

特別仕様書

九州農政局  
沖永良部農業水利事業所

## 第1章 総則

### 第1-1条 (適用範囲)

令和7年度沖永良部農業水利事業 地下ダム施工技術検討業務の施行に当たっては、「設計業務共通仕様書」(以下「設計共通仕様書」という。)によるほか、設計共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1-2条 (目的)

本業務は、国営沖永良部農業水利事業の一環として建設される沖永良部地下ダムにおける地下水挙動の把握並びに高透水箇所対策工の効果検証等を行うものである。

### 第1-3条 (場所)

本業務位置は、鹿児島県大島郡知名町大字余多地内であり、別紙1「位置図等」に示すとおりである。

### 第1-4条 (業務概要)

本業務の概要は次のとおりであり、詳細は第3章に示すものとする。

- (1) 地下水挙動等の把握及び高透水箇所対策工の効果検証 1式
- (2) 高透水箇所対策工による浸透抑制効果の評価 1式
- (3) ダム技術検討委員会資料作成 1式

### 第1-5条 (低入札価格契約における第三者照査)

1 予算決算及び会計令(以下「予決令」という。)第85条の基準に基づく価格(以下「調査基準価格」という。)を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「設計共通仕様書第1-7条 照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において設計共通仕様書を基本とする第三者の照査(以下「第三者照査」という。)を実施しなければならない。

#### 2 第三者照査の企業に要求される資格

- (1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
- (2) 九州農政局において、令和7・8年度(建設コンサルタント)の一般競争(指名競争)参加資格の認定を受けていること。
- (3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 設計共通仕様書第1-30条 守秘義務を遵守できるものであること。
- (5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。

なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

#### ① 資本関係

(ア) 親会社と子会社の関係にある

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある

#### ② 人的関係

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

- 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

第4-1条 業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者のAGRIS 登録

設計共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

第1-6条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- ① 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ② 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③ その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく

異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合

④ 業務成果品のミス、不備 等

第1-7条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速かにこれに応じるものとする。
- (2) 本特別仕様書及び共通仕様書に明記されていない事項であっても、本業務実施上、特に判断を要するものは監督職員の指示を受けるものとする。

第1-8条 (管理技術者)

- 1 管理技術者は、設計共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業-農業土木 農業-農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティン グマネージャー	農業土木	

第1-9条 (照査技術者)

- (1) 照査技術者は、設計共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業-農業土木 農業-農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティン グマネージャー	農業土木	

- (2) 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書(案)」(以下「照査手引書」という。)に基づき実施する。

また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、設計共通仕様書第1-7条第5項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

- (3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第1-10条 (担当技術者)

担当技術者は、設計共通仕様書第1-8条によるものとする。

第1-11条 (配置技術者の確認)

設計共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び設計共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書及び作業計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、業務組織計画を変更する際も同様とする。

- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書及び作業計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者等を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

#### 第1-12条 (保険加入)

受注者は、設計共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

### 第2章 作業条件

#### 第2-1条 (適用する図書)

設計の基本的事項に関しては、「地下ダムによる水資源開発の手引き」(独立行政法人緑資源機構 平成18年12月)及び「土地改良事業計画設計基準・設計ダム」(平成15年4月)を優先して適用する。

他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

#### 第2-2条 (設計条件)

設計作業における設計条件等は、次のとおりである。

##### (1) 沖永良部地下ダム諸元

- 1) ① 満水位標高 EL. 19.00m
- ② 根入れ長さ L = 1.00m
- ③ 設計基盤透水係数  $k = 1.00E-05\text{cm/s}$
- 2) SMW工法 (既設止水壁)
- ① 設計透水係数  $k = 1.00E-06\text{cm/s}$
- ② 止水壁厚さ (平均)  $b = 0.50\text{m}$
- ③ 設計杭径  $\phi 0.55\text{m}$

#### 第2-3条 (参考図書)

設計作業の参考にする図書は、設計共通仕様書第2-1条によるものとする。

#### 第2-4条 (貸与資料)

貸与資料は次のとおりである。

分類	資 料 名	数 量
設 計	令和6年度 地下ダム施工技術検討業務 報告書	一式
	令和6年度 沖永良部地下ダム設計技術検討業務 報告書	一式
	令和5年度 地下ダム施工技術検討業務 報告書	一式
	令和5年度 地下ダム取水解析等検討業務 報告書	一式
	令和4年度 地下ダム設計業務 報告書	一式
	令和3年度 地下水挙動把握業務 報告書	一式

調 査	平成27年度 地下ダム軸地質調査（その9）業務 報告書	一式
	平成27年度 地下ダム軸地質調査（その11）業務 報告書	一式
	平成27年度 地下ダム軸地質調査（その12）業務 報告書	一式
	平成28年度 地下ダム地質総合とりまとめ業務 報告書	一式
	令和3年度 地下ダム地質調査（その1）業務 報告書	一式
	令和3年度 地下ダム地質調査（その2）業務 報告書	一式
	令和3年度 地下ダム地質調査（その3）業務 報告書	一式
	令和3年度 地下ダム地質調査（その4）業務 報告書	一式
	令和4年度 地下ダム地質調査（その5）業務 報告書	一式
施 工	地下ダム止水壁施工管理資料	一式

第2-5条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。
- (4) 貸与資料に不足があった場合については、必要な貸与資料を監督職員に請求するものとする。

第2-6条（関連業務等）

本業務と関連する他業務又は工事は次のとおりであり、監督職員及び関連業務・工事の管理技術者等と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

業務・工事名	履行期間	備 考
令和7年度沖永良部農業水利事業 地下水位観測等調査業務（仮称）	令和7年4月 ～令和8年1月（予定）	
令和7年度沖永良部農業水利事業 沖永良部地下ダム技術検証業務（仮称）	令和7年4月 ～令和8年1月（予定）	
令和7年度沖永良部農業水利事業 技術誌編纂業務（仮称）	令和7年4月 ～令和8年2月（予定）	

第3章 設計作業内容

第3-1条（設計作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙2「作業項目内訳表」（該当項目）に○印で示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
<b>地下水挙動等の把握及び高透水箇所対策工の効果検証</b>	<b>1 式</b>	
（1）自記地下水位観測記録等の整理	1 式	
（2）地下水位観測記録等の整理	1 式	
（3）地下ダム貯留域内外の地下水挙動の把握	1 式	

(4) 対策工完了後の貯留タンクモデルによる 水収支計算	1式	
<b>高透水箇所対策工による浸透抑制効果の評価</b>	<b>1式</b>	
(1) 1号集水井揚水ポンプ運転時の下流側観測孔水 位の反応の考察	1式	
(2) 流動調査による分析	1式	
(3) 一斉観測調査	1式	
(4) 浸透抑制効果分析結果のとりまとめ	1式	
<b>ダム技術検討委員会資料作成</b>	<b>1式</b>	

### 第3-2条 (設計作業の留意点)

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (2) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (3) 第2-4条、第2-5条及び設計共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (4) 本業務の作業内容については、沖永良部地下ダムの各機能の検証や安全性、地下水の挙動等の高度な技術的課題に的確に対処するため、様々な分野の学識経験者や専門技術者からなるダム技術検討委員会を設置し、専門的知見からの適切な助言・指導を活用できる体制を運営することとしている。
- (5) ダム技術検討委員会資料作成に関連する委員会等の開催予定時期及び場所は次のとおりである。

区 分	予定時期	予定場所	備 考
ダム幹事会	第2四半期	知名町	農林水産省、九州農政局職員で構成
ダム委員会	第2四半期	知名町	
個別説明	第1四半期	Web	

- (6) ダム技術検討委員会及び幹事会については、管理技術者及び担当技術者1名が出席するものとする。
- (7) 業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。また、最終打合せ時以外であっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条 (打合せ)

- (1) 設計共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階に行う予定としており、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 業務計画書作成段階 [ウェブ会議]

- 第2回 中間打合せ（ダム技術検討委員会資料完了段階）〔対面会議〕
- 第3回 中間打合せ（地下水挙動等の把握・高透水箇所対策工効果検証取りまとめ完了段階）〔対面会議〕
- 第4回 中間打合せ（高透水箇所対策工浸透抑制効果分析完了段階）〔対面会議〕
- 最終回 報告書原稿作成段階〔ウェブ会議〕

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互にするものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、契約変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計共通仕様書第1～10条に定める作業計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

- (2) 第2回及び第4回以外の打合せは、ウェブ会議方式によるものとするが、必要がある場合は、監督職員と協議の上、対面による打合せに変更することができる。

## 第5章 成果物

### 第5-1条（成果物）

本業務は電子納品対象業務とする。成果物を設計共通仕様書第1～17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副2部
- (2) 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のA4ファイル綴じで可）

### 第5-2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県大島郡知名町知名85番地  
九州農政局 沖永良部農業水利事業所

## 第6章 業務管理

### 第6-1条（情報共有システム）

- (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- (2) 情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/index.html>) によるものとする。
- (3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

## 第7章 契約変更

### 第7-1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第3-1条に示す「設計作業项目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (5) 履行期間の変更が生じた場合。
- (6) 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- (7) その他

## 第8章 定めなき事項

### 第8-1条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

# 国営沖永良部土地改良事業

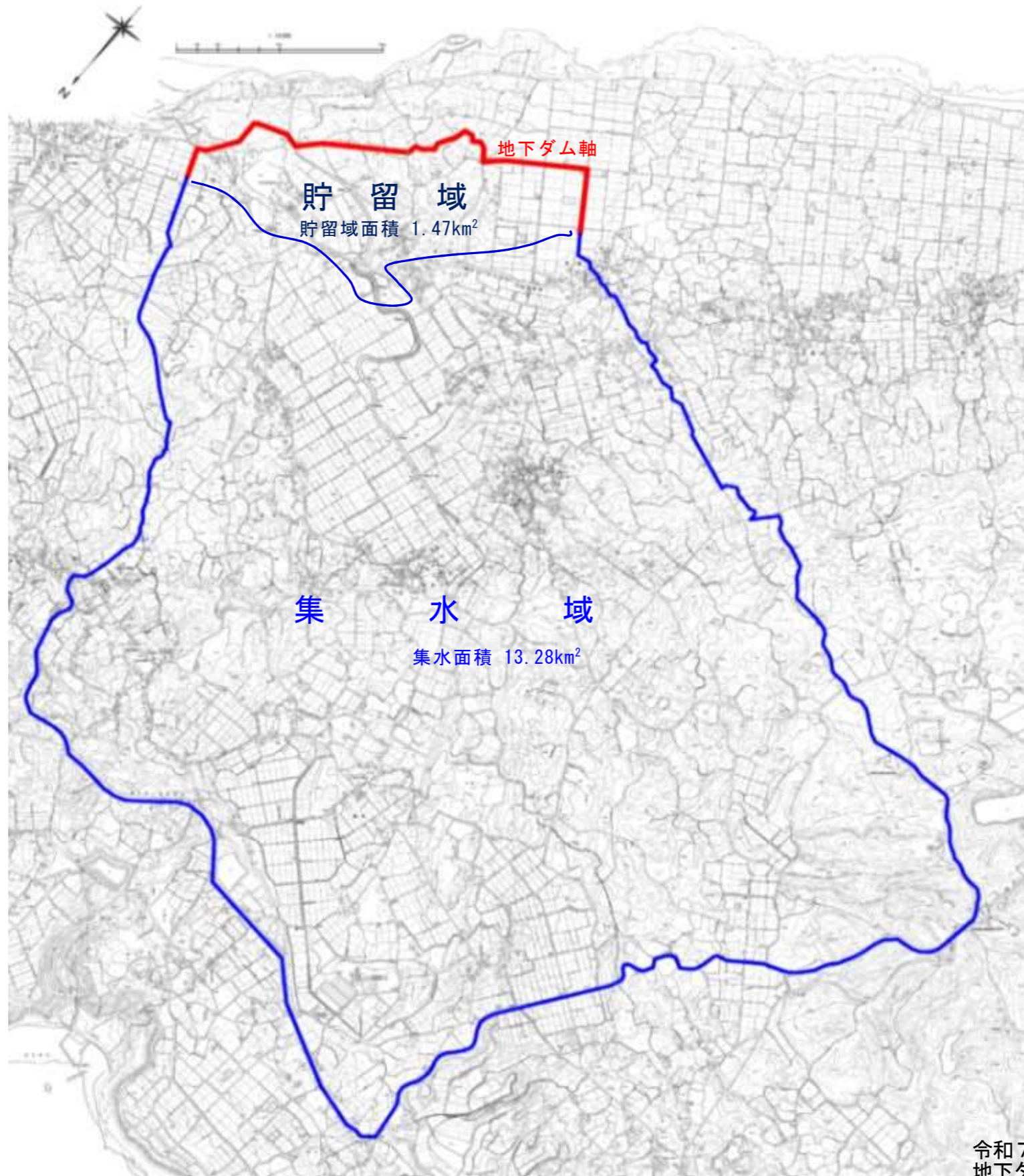
## 一般計画平面図



凡 例	
	畑地かんがい区域
	普通畑
	集水区域
	貯水区域
	地下ダム
	取水施設(集水井)
	吐水機
	国営ファームpond
	国営用水路
	県営揚水機場
	県営ファームpond
	県営用水路
	県営調整池
	県営中継機
	湧水(県営水源)

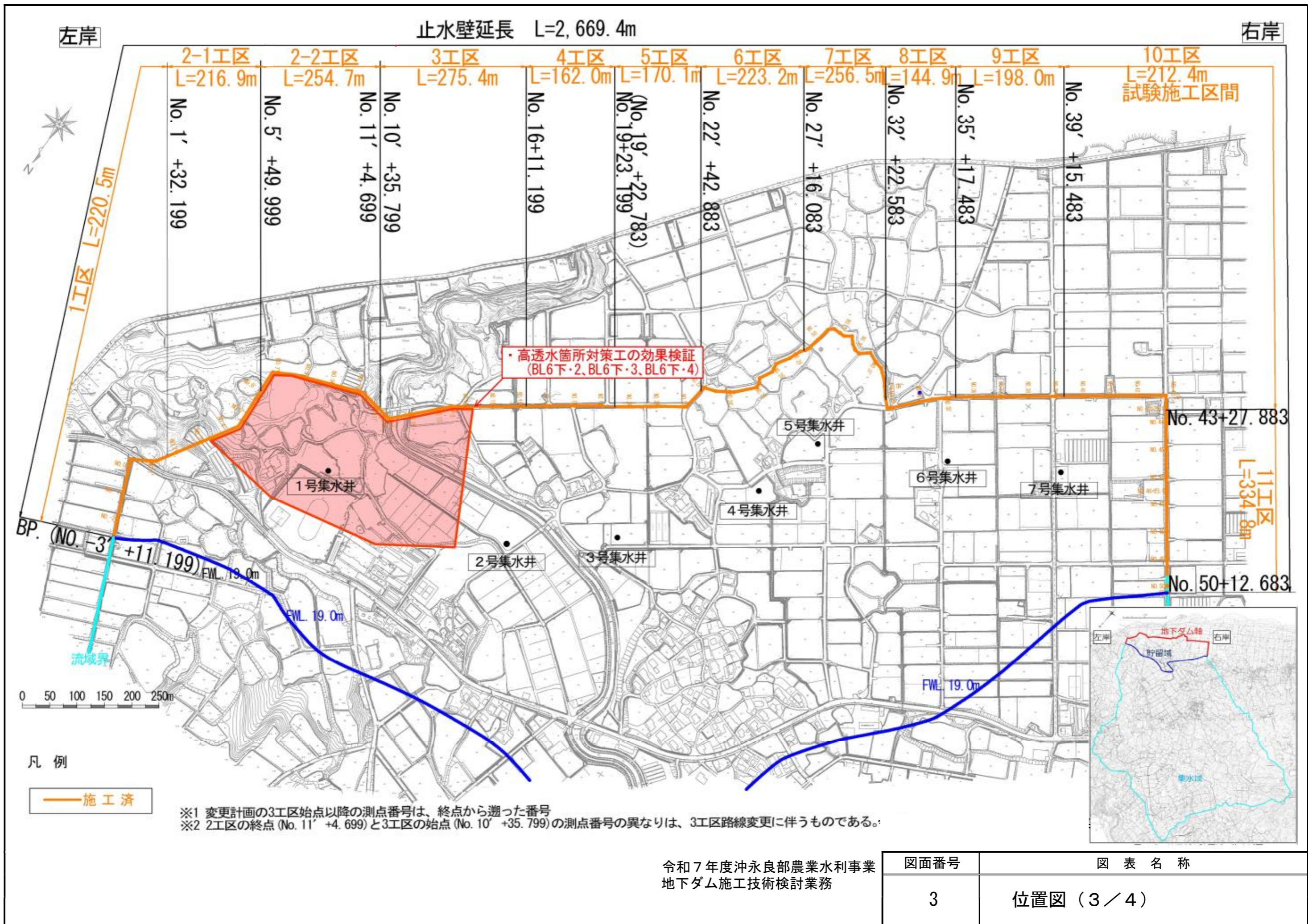
令和7年度沖永良部農業水利事業  
地下ダム施工技術検討業務

図面番号	図表名称
1	位置図 (1 / 4)



令和7年度沖永良部農業水利事業  
地下ダム施工技術検討業務

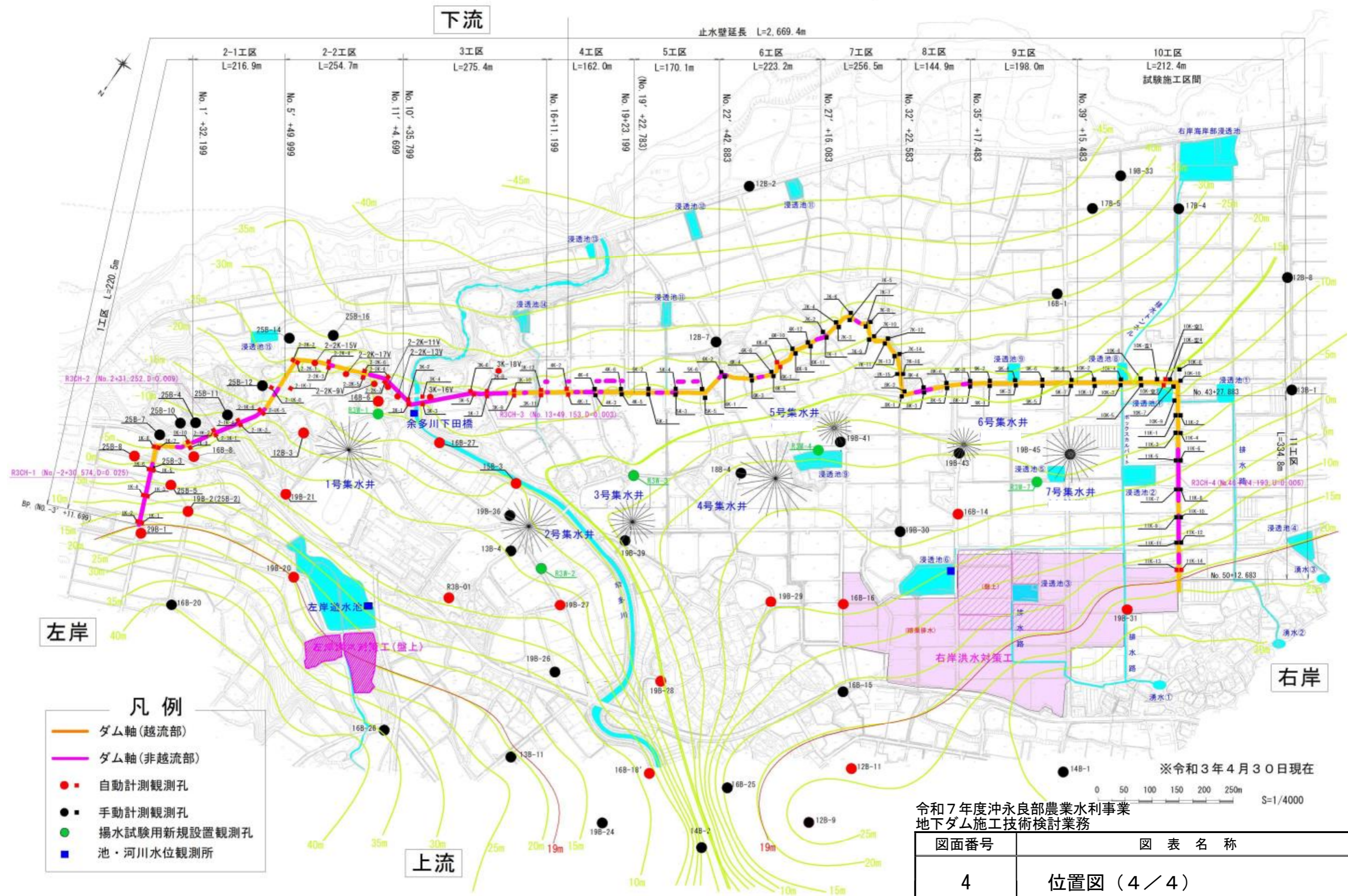
図面番号	図表名称
2	位置図 (2 / 4)



令和7年度沖永良部農業水利事業  
 地下ダム施工技術検討業務

図面番号	図表名称
3	位置図 (3 / 4)

# 地下水位観測孔位置図



下流

止水壁延長 L=2,669.4m

2-1工区 L=216.9m    2-2工区 L=254.7m    3工区 L=275.4m    4工区 L=162.0m    5工区 L=170.1m    6工区 L=223.2m    7工区 L=256.5m    8工区 L=144.9m    9工区 L=198.0m    10工区 L=212.4m

試験施工区間

1工区 L=220.5m

No. 1' +32.199

No. 5' +49.999

No. 10' +35.799  
No. 11' +4.699

No. 16+11.199

(No. 19' +22.783)  
No. 19+23.199

No. 22' +42.883

No. 27' +16.083

No. 32' +22.583

No. 35' +17.483

No. 39' +15.483

No. 43+27.883

No. 50+12.683

左岸

右岸

## 凡例

- ダム軸(越流部)
- ダム軸(非越流部)
- 自動計測観測孔
- 手動計測観測孔
- 揚水試験用新規設置観測孔
- 池・河川水位観測所

上流

※令和3年4月30日現在

0 50 100 150 200 250m S=1/4000

令和7年度沖永良部農業水利事業  
地下ダム施工技術検討業務

図面番号	図表名称
4	位置図(4/4)

【作業項目内訳表】

作業項目		作業内容	作業実施欄	備考
1. 作業準備				
1-1	資料収集・整理及び業務作業計画の策定	地質調査、地下水調査、水文気象の基本的なデータ資料及び他地区における類似事例を収集・整理し把握した上で、業務作業計画を策定する	○	
2. 地下水挙動等の把握及び高透水箇所対策工の効果検証				
2-1	自記地下水位観測記録等の整理	自記式水位計で計測した令和7年1月～9月の地下水位データ(分毎、時間毎データが混在)について、毎正時及び定時(0時)のデータとして整理する。 ※途中、令和7年7月末迄のデータを中間整理することとする。	○	
2-2	地下水位観測記録等の整理	令和7年1月～9月における全工区の地下水位観測孔、集水井、左岸排水遊水池、浸透池、余多川下田橋の水位観測記録、雨量記録及び集水井取水量を過年度の整理済のデータと合わせて整理する。 ※途中、令和7年7月末迄のデータを中間整理することとする。	○	
2-3	地下ダム貯留域内外の地下水挙動の把握	2-1及び2-2で整理したデータをもとに、地下ダム貯留域内外の地下水位の挙動を検討、貯留状況を把握し、地下水位コンター図を作成する。 (地下水位コンター図の作成頻度は、月1回とし、作成日は、高透水箇所対策工の進捗及び気象状況(降水量)を考慮し抽出するものとする。) ※途中、令和7年7月末迄のデータを中間整理することとする。	○	
2-4	対策工完了後の貯留タンクモデルによる水収支計算	対策工完了後の実測地下水位を用い、令和6年度に作成した余多川左岸部における止水壁高透水箇所から浸透量を考慮した場合の貯留タンクモデルを修正した水収支計算を行う。 (対象ブロックは、BL6下・2、BL6下・3、BL6下・4) ※再現期間は、令和7年9月迄とするが、令和7年7月末迄のデータを中間整理することとする。	○	
3. 高透水箇所対策工による浸透抑制効果の評価				
3-1 1号集水井揚水ポンプ運転時の下流側観測孔水位の反応の考察				
3-1-1	ダム軸上下流地下水位相関分析	2の地下水位観測データをもとに、上下流孔水位の相関グラフを作成し、地下ダムグラウチング工事(以下、「テスト工事含む」)に伴う下流側観測孔水位の反応の変化を考察する。	○	
3-2 流動調査結果による分析		令和6年度の流動調査結果をもとに、対策工前の流動調査結果と比較し、令和7年5月末を目途に高透水箇所対策工の効果を分析・整理する。	○	
3-3 一斉観測調査		1号集水井を12時間連続稼働させた時のダム軸上下流の地下水位計測及びそのための水位計設置・撤去・データ整理を行う、	○	
3-4 浸透抑制効果分析結果のとりまとめ				
3-4-1	浸透抑制効果分析結果のとりまとめ	3-1～3-3で実施した浸透抑制効果の分析結果を取りまとめる。	○	
4. ダム技術検討委員会資料作成				
4-1	ダム技術検討委員会資料作成(第1回)	上記2～3の作業成果のうち、検証結果について、過年度の委員会指摘を踏まえた資料構成として、ダム技術検討委員会資料「様式4」及び「図表集」を整理作成する。	○	
4-2	ダム技術検討委員会資料作成(第1回)【グラウチング】	令和6年度施工した高透水箇所対策工(BL-5、6、7)について、ダム技術検討委員会資料「様式4」及び「図表集」として整理作成する。	○	
5. 照査				
5-1	照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○	
6. 点検とりまとめ				
6-1	点検とりまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	○	